

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 松涛会	代表者	斎藤 正樹	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設になっていて他部署との協力体制ができています。</li> <li>・安岡病院、山の田内科が協力病院として緊急時等の受診などの連携ができています。</li> <li>・施設内は家庭の延長線としての雰囲気があるまま活かされるようにし、不安や心配事を訴えてくる利用者様には、個別に対応をしている。</li> <li>・利用者本位の柔軟な対応に心掛け、緊急な泊りなど家族の要望の受け入れをしている。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能 701号 金比羅	管理者	中堀 詔子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			2人	人	1人	1人	人	5人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できていないと回答している職員に対し、個人面談等にてどこが何故できていないのかを明確にし日々の業務のなかから改善できるよう指導していく。</li> <li>・職員へ自己評価をしてもらう際、わかりにくい設問には補足をつけるようにしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目でできていないと回答している職員へは業務を通し〜したらどうかと皆で助言しあい改善できるように取り組んだ。</li> <li>・事前にわかりにくい設問に対し、補足の説明をしてから配布し自己評価の記入をするようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域住民の意見</li> <li>・A-①②の設問について常勤職員が何人いるとか職員構成などは外部の人は知らないと思う。</li> <li>・外部の人は詳しい仕事内容は解らないが職員は真面目に取り組んでいると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方へ関わりシート等を配布する際に、事業所の重要事項説明書(職員構成などが書かれたもの)も一緒に配布するようにする。</li> <li>・自己評価をする事で一年の振り返りをする事が出来ている。今後も全職員でケアの振り返りをし質の向上を図っていく。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を通じて日々の取り組んだ内容(〜してみたがうまくいかなかった)等を話すようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議にて日々の取り組みや活動内容を毎月発行している通信(活動している写真等)も添え報告している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域住民の意見</li> <li>・職員は職場の音が大きくても気にならないだろうが、近所の者は音が不愉快に感じる。車のバック音やボイラーの音も。寝室を変えたり耳慣れするまで大変だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設からの騒音に対しては本部を交えて連携を取り対応して行く。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな行事や提案されている戦争体験の案など地域密着委員会と一緒に協議し地域と共同で行えるようにしていく。</li> <li>・又、毎年ある地域行事には参加し地域の方との関係を深めていけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争体験については話せる方が少なく、子供の参加が望みにくい為実施には至らなかった。</li> <li>・毎年開催されている、オレンジカフェや西部地区の文化祭等には利用者様と参加する事ができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域住民の意見</li> <li>・横断歩道に立っていても挨拶をする人、しない人がある。挨拶してくれる事でこの職員と解るので挨拶をして欲しい。</li> <li>・自治会からイベントの共同開催を提案していきたいが、時間帯など逆に施設側からできる体制を教えて欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も挨拶については継続の課題として行く。</li> <li>・フロイデ金比羅職員に対し挨拶の意味や重要性を理解してもらい施設全体で挨拶をする様取り組んで行く。</li> <li>・イベントの開催については時間帯や場所など実施可能な条件付けをしたうえで提案、話し合いをするようにしていく。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続し地域行事への参加や金比羅開催の行事の案内をしていきフロイデ金比羅をアピールしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事にはできる限り利用者様と参加するように心掛けたが時間や場所によって参加できる人が限られてしまう事があった。</li> <li>・金比羅開催の行事については回覧板や地域の掲示板を活用し地域の方へ参加の呼びかけを行った。排便の勉強会やバザー、海峡花火大会の鑑賞など地域の方の参加があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域住民からの意見</li> <li>・地域から「〇〇があります」と案内があっても施設都合(時間や職員数等)で参加できないことが多いのでは？</li> <li>* 事業所職員からの意見</li> <li>・D-④の設問については近所の心配な人と言うよりも、毎日見る地域の方が今日はいないけどどうしたんだろうかと、かまはずはそこからじゃないでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事への参加については参加ができるよう人員配置の調整や行事の把握をし、また可能な日程等を事前に伝える様にする。</li> <li>・行事だけでなく毎日の関わりから地域の方との関係を深めていけるように努力をしていく。そのためにも、職員から積極的に挨拶をする。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続し行事や清掃活動、日々の挨拶から顔の見える関係作りをしていくと共に地域から必要とされる事業所を目指していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月曜日の施設周辺の清掃活動は継続し行っている。</li> <li>・通勤時等、地域の方と会う機会のある時は挨拶するなど関係を深められるように努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域住民からの意見</li> <li>・清掃活動は入居者の方も一緒にしているのを見たが楽しそうな雰囲気がかがえた。ほうきを使ったり、かがんでゴミを拾うのもリハビリになるのかも。中にずっといるよりも少しでも外にでる事が楽しいのではないのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も清掃活動や施設行事、地域資源を活用したレクリエーションなど日々の活動を通してフロイデ金比羅をアピールし、地域に根ざした事業所を目指していく。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も避難訓練の見学や参加の呼びかけを回覧板を活用しおこなっていくようにする。</li> <li>・又、訓練内容を写真などを付け報告するようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続し避難訓練を行う際は事前に回覧板を活用し地域の方へ参加の呼びかけをしているが見学、参加者はいなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域住民の意見</li> <li>・避難訓練だけに固執しなくてもいいのではないかと？人口呼吸とかの応急救護とかもいざとなったらあわてるから講座等を行って欲しい。</li> <li>* 事業所職員の意見</li> <li>・内容は一緒でも避難訓練とかよりも消火訓練や消火器の使い方とかの方が興味を持ってもらえるのではないかと？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練だけに限らず、AEDの使い方や消火器の使い方など地域の方に興味を持ってもらえるような内容を考え、参加の呼びかけも文言を変えてみるなど工夫する様にしていく。</li> </ul>